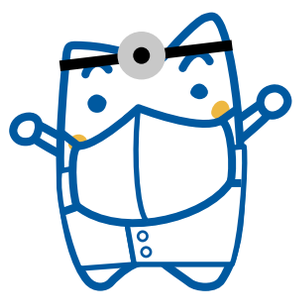
県民の皆様へ
一般社団法人 兵庫県歯科医師会からの

緊急メッセージ

1. かかりつけ歯科医に相談して下さい

むし歯を放置したり入れ歯の具合が悪いままだと食事が摂れなくなり、体力•免疫力が落ちてしまいウイルスに感染しやすくなります。また歯周病の悪化は全身状態の悪化につながると言われています。糖尿病や人工透析中など持病がある人は、特に口腔状態の悪化が、全身状態の悪化につながる可能性が高まります。命を守るためにも口腔ケアが大切です。治療やメンテナンスの継続・延期についてはご自身で判断をなさらずに「かかりつけ歯科医」にご相談ください。



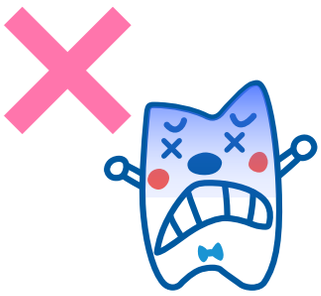
2. 歯磨き・舌みがき・うがい等の口腔ケアが大切です

歯や舌など口の中を清潔にすることで体の免疫力を高め感染症や肺炎にかかるリスクを下げることが出来ます。
口の中が不衛生だと、細菌性肺炎のリスクが上がり、新型コロナウイルス性肺炎に罹患した際、重症化しやすくなります。介護現場等での口腔環境の悪化は、特にリスクを高めます。
誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性がある今だからこそ口腔ケアで助けることのできる命があると言えます。

3. 手洗い・マスク・消毒「うつさない・うつされないために」

皆様もマスクの着用や診療室に出入りする時の手洗い・アルコール消毒にご協力ください。
私たちは皆様の安全のために感染基本対策（スタンダードプリコーション）を守り、「手洗い」は患者さん毎の診察前後はもちろん、頻回に行っています。
患者さんのお口を見る時は必ずマスクをしてグローブをします。
医療器具の消毒・滅菌や診療室や待合室の消毒を徹底し常に清潔を保っています。

4. 無理をしないでください



自分では元気だと思っていても、発熱等の風邪症状が見られるときは外出を控えてください。
お互いが思いやりの気持ちを持ちうつさないようにしましょう。

5. 3密を減らす取り組みにご協力を

待合室の３密を減らす努力をしています。換気の徹底、アポイントの調整を行っています。診療内容の制限や休診とする場合もあります。
ご理解ご協力お願いします。

6. メンテナンスの重要性

メンテナンスとはむし歯や歯周病の進行を抑えるために必要なので、歯科医院で計画的な治療を継続していただくようお願いいたします。
また、メンテナンスにより肺炎のリスクが低減します。

7. 最後に

外出自粛により歯科治療を中断されている県民の方々も多く、むし歯や歯周病の悪化、さらには全身状態への影響が心配されます。
歯科医療現場は歯科医療従事者にとって感染リスクが高いと言われていますが、私たちは新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前から、肝炎やエイズなどのウイルス感染予防対策に取り組み安全・安心な歯科医療を心掛けています。
私たちはこれからも歯科医療従事者として県民の皆様の健康寿命延伸の為に頑張ってまいりますのでご安心下さい。